



# 日の出

~Hinode~



☆学校教育目標☆

- 進んで学習する子（知）
- 思いやりのある子（情）
- 考えて行動する子（意）
- 元気に活動する子（体）

**日の出小3つの約束**  
いのち 思いやり 家庭学習

## 未来に羽ばたく日の出っ子の育成を目指して ~学校評価~

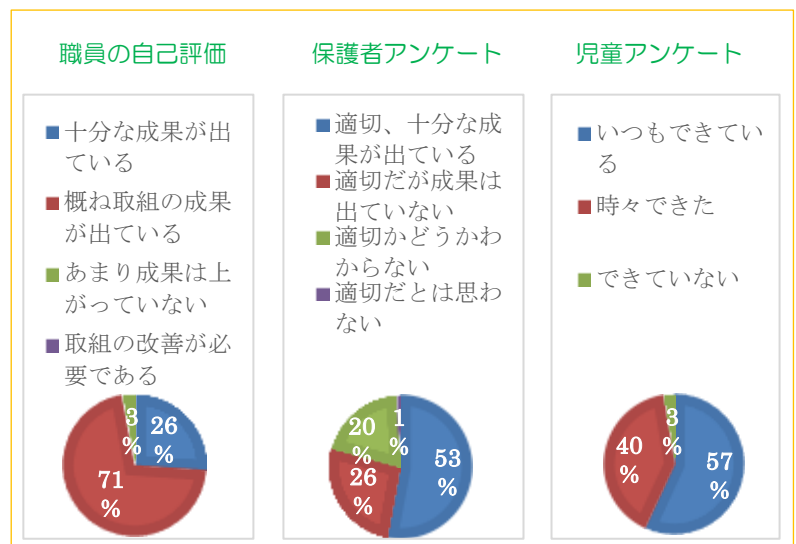
11月末の保護者アンケートへの御協力、さらに、たくさんの御意見をいただき、ありがとうございました。約96%の回収率となりました。同時に、職員による自己評価、児童アンケートによる意識調査等を行い、今年度の取組を振り返り、今、次年度の計画を立てているところです。

今回の調査の結果と保護者の皆さんの御意見を参考にしながら、次年度の取組の方向性を掲載しましたので、お知らせいたします。(◎：成果、●：課題、□：改善策)

### 【今年度の重点目標から】

#### 1 全国水準の学力を身に付ける

- ◎家庭学習習慣は、身に付いてきている。
- ◎自主的に学習に取り組める児童が増えてきた。
- 家庭学習の「質」を高める。
- 授業の「質」を高める。
- 家庭学習の成果を発揮させる機会として、単元テスト、学力テストを実施しています。それらのテスト結果の分析を行い、宿題プリントの作成や自主学習の取り組み方を指導していきます。
- 学力を高めるためには、授業改善の他に、基礎的な力を育てていく必要があります。学校だけでなく、家庭と一緒に、子ども達の言語環境を整えたり、学習習慣を身に付けたりします。
- 学習規律を徹底し、考える時間や話し合う時間を保障した授業づくりをしていきます。

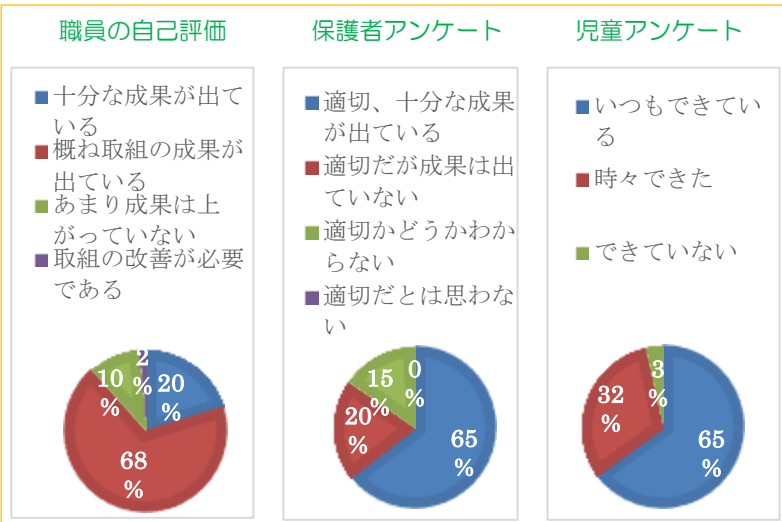


#### 2 思いやりの心と対人関係力を身に付ける

- ◎校内、校外ともに、昨年度と比較し、重篤な生徒指導の件数は大きく減少している。(昨年度は、100件を超えていました)
- ◎話し方や思いやりを持って接している子ども達の姿が多く見受けられる。のびのびと成長しており、優しい子ども達が多い。
- コロナ禍でもあり、子ども達は、ソーシャルディスタンスを意識しながらの生活を強いられてきた。人と接する機会が極端に減ってきたが、豊かな心を育むためには、こうした状況でのコミュニケーション能力を高め、心をふれあわせる機会を増やしていくことが必要である。
- コロナ禍によって、本来の道徳の授業づくりができなかった。

□学校外の子供達の過ごし方について、学校では、道徳の時間や学級活動の時間で一緒に考えたり指導したりしていきます。ご家庭でも、子供達の気になる行為や行動について、事実を正しくとらえ、お子様と時間をかけて話し合いをしてください。子供達の健やかな成長は、家庭教育と学校教育の両輪が揃った時に効果を発揮します。

□道徳科において、議論し合う授業づくりを行うとともに、そこで培った道徳性を様々な行事等の中で発揮できるような教育活動を展開します。



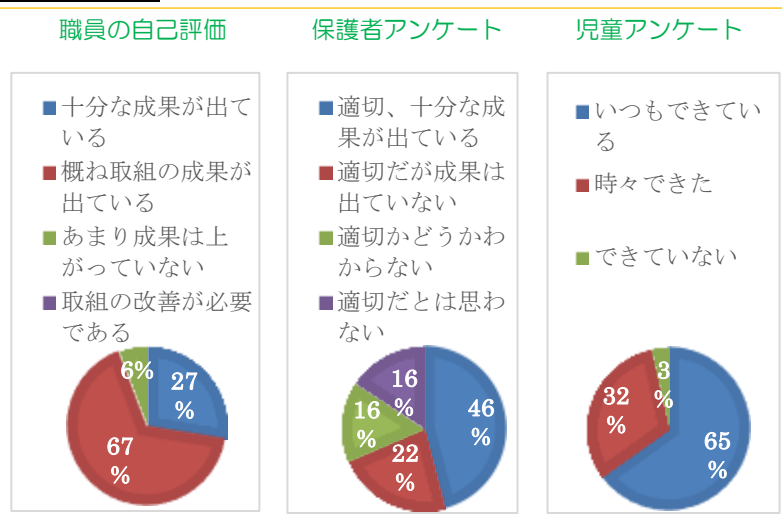
### 3 自分らしい生き方や成功を追求する力を身に付ける

◎自己肯定感の高い子供が多い。

●子供同士が交流する時間が少なく、お互いの考えを伝えあう機会が少なかった。

●目標を持たせ、振り返りも行ってきたが、様々な機会をとらえ、子供たち一人一人に適切なアドバイスをする機会が少なかった。

□「何のために学習するのか」ということを子供達一人一人に考えさせるために、キャリア教育を充実させ、将来への夢や希望を持ち、目標に向かって努力する態度を育てます。



## 【学校教育目標から】

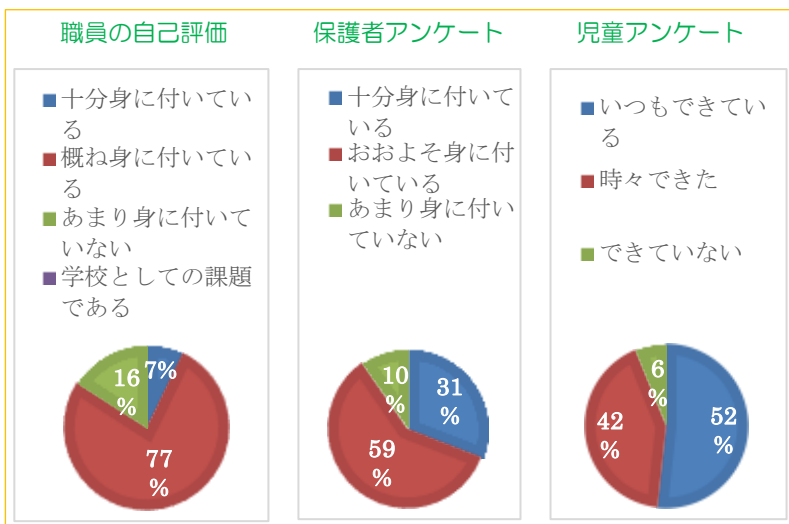
### 1 進んで学習する子

◎「話を聞いている」「課題を意識して学習している」と回答している子供も多い。

●学習規律の徹底が不十分である。

●考える力、判断する力、表現する力を、さらに身に付けさせる必要がある。

□学習規律については、これまで通り月別に重点目標を示しながら、全ての子供達が達成できるように取り組みます。



□コロナ禍で、話し合い活動を取り入れることは難しい状況ですが、子ども達の考えを引き出し、話し合いを促進したり、まとめたりするなど、教師がファシリテーターとしての役割を發揮するなどの工夫をしていきます。

## 2 思いやりのある子

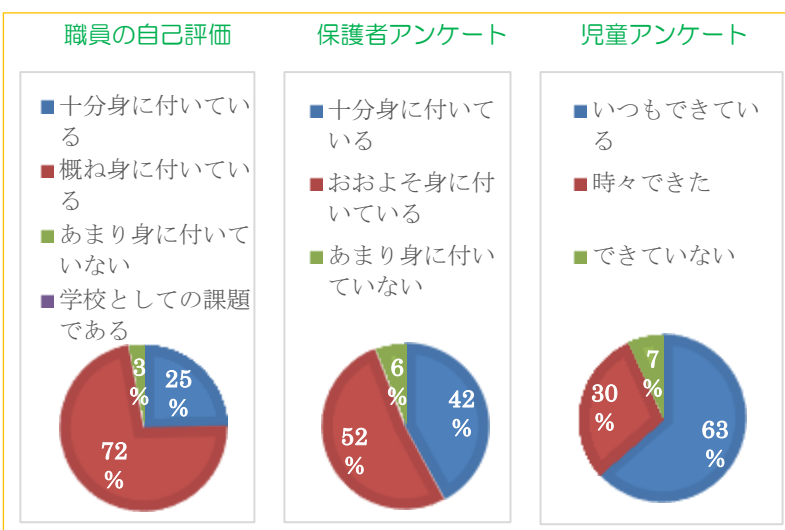
◎日の出小学校には、思いやりのある子ども達が多い。子ども達の意識も高い。

●コロナ禍で、動植物にふれたり、育てたりする機会を多く設けることができなかった。

●学校外で、暴言を吐くなどの様子が時々見られた。

□十分な感染対策を取りながら、様々な体験活動を設定していきます。

□学校でも、学校外でも同じ行動がとれるように、家庭と学校が連携を深めながら指導していくことが大切です。子ども達の行動で気がなったことがあれば、いつでも学校にお知らせください。



## 3 考えて行動する子

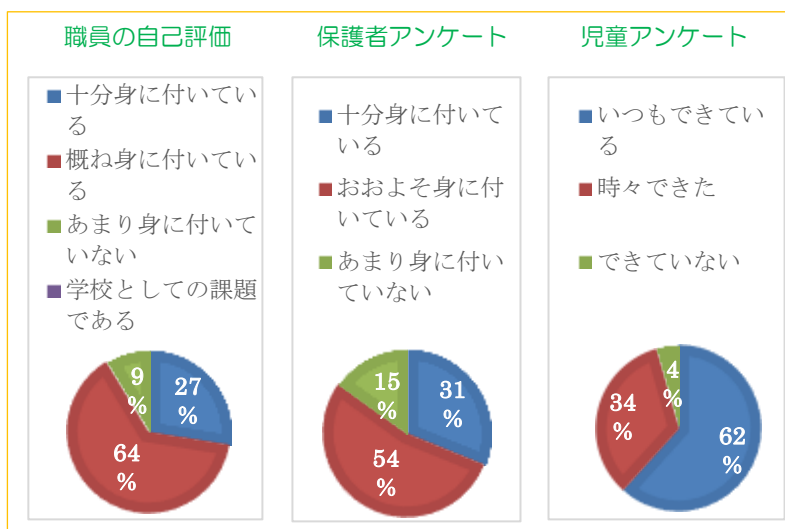
◎日の出小学校には、周りの状況を見ながら、考えて行動できる子ども達が多い。また、正しい言葉遣いをするなど、この1年で大きく成長している。

●コロナ禍で、集団の中における子ども達一人一人の役割を意識させる場が少なかった。

●良いか悪いかを判断して行動する力を、なかなか育てられなかった。

□児童会活動、学級会活動を通して、集団の中で役割を考えたり、行動力を身に付けさせたりするような取り組みの工夫をします。

□善悪の判断については、気になる時にその都度指導をすることはもちろんですが、道徳や学級活動の中で、具体的な場面を提示し、話し合いをしながら、その時、自分はどうすべきなのかを考えさせていきます。



## 4 元気に活動する子

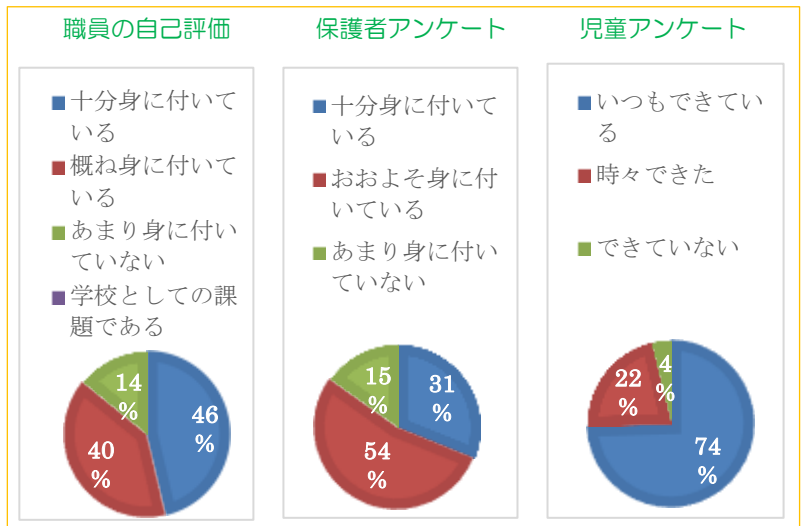
◎子ども達の安全を確保するために、学校は可能な限りの感染防止対策を講じた教育活動を展開している。

◎子ども達の体力を維持するために、感染防止対策を講じながら、「縄跳びチャレンジ」「スケート学習」を継続している。中休みや昼休みの「遊びの時間」も、教員の指導の下に取り組んでいる。

●子ども達には、自分の体や健康に、より関心を持たせたい。

□子ども達の体力向上を目指して、感染防止対策を徹底しながら、運動習慣の形成に取り組んでいきます。

□全ての教育活動を通して、生命を大切に、安全に生活する態度を育てます。



### 【学校運営について】

◎コロナ対策が徹底されており、毎日安心して学校に通わせることができました。

◎学校だよりだけでなく、毎日ホームページを更新するなど、コロナ禍でなかなか学校に行けなくても、子ども達の様子や学校としての取組がしっかり伝わっていました。

◎コロナ禍で感染拡大防止を優先する中、スポーツフェスティバル、修学旅行、宿泊学習、参観日など、子ども達の安全を確保しながら実施できたことは、とても良かったです。

●学校だよりや、家庭の文書など、デジタル化を進め、ペーパーレス化を進めている学校が多くなったと聞いています。日の出小学校では、どうお考えですか。

●個人懇談も中止になり、学校は閉鎖された空間となっています。ますます先生と親の距離も遠くなってしまいます。感染対策をしっかりやれば、実施できたのではないのでしょうか。

□次年度、ペーパーレス化に関わって、子ども達に関わる教育活動については、今までと同様の対応をしますが、保護者や地域の皆様への発信文書については、マチコミメールやホームページを活用して発信したいと考えています。2月中に、保護者の皆様にアンケートを実施したいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。今、その準備段階として、校務支援システムを活用した校務のデジタル化に取り組んでいるところです。

□子どもの教育は、家庭と学校が一緒になって取り組むものです。そのためには、保護者の皆様と担任の連携が大切だと考えています。しかし、4月から5月にかけては、臨時休校となり、家庭訪問を実施することができませんでした。12月の個人懇談は、是非実施したいと考えていましたが、年度初めの感染状況と比較にならないほどの感染拡大が続き、電話での教育相談を実施しました。未だに収束する気配もなく、次年度も今年度と同様の対策を講じていくことが必要だと考えています。今、来年度の計画を策定しているところですが、様々な感染防止対策を取りながら実施できるように話し合っているところです。



### 【ご家庭での様子から】

□携帯・スマホの所有率が47%でした。小学生にしては、高い所有率だと感じています。学校では、6年生に、防犯教室でスマホの使い方や危険性について指導しているところです。使い方によっては、犯罪に巻き込まれる可能性もあることから、所持させた場合は、しっかりとお家の方と使い方について話し合っていたいただきたいと思います。

□家読をあまりしていないと回答をした子ども達は16%です。学力に大きくかわることもありますので、次年度は読書習慣の形成に取り組みます。

